

## 特許協力条約

PCT

特許性に関する国際子備報告（特許協力条約第二章）

(法第12条、法施行規則第56条)  
〔PCT36条及びPCT規則70〕

出願人又は代理人 の書類記号 A211-02/PCT	今後の手続きについては、様式PCT/IPEA/416を参照すること。	
国際出願番号 PCT/JP03/14854	国際出願日 (日.月.年) 20.11.2003	優先日 (日.月.年) 29.11.2002
国際特許分類 (IPC) Int.Cl' C12M15/09, C07K14/47, C07K16/18, C12N5/10, C12P21/08, A61K38/17, A61K39/395, A61K48/00, A61P31/12, A61P35/00, A61P37/08		
出願人（氏名又は名称） 独立行政法人科学技術振興機構		

1. この報告書は、PCT35条に基づきこの国際子備審査機関で作成された国際子備審査報告である。  
法施行規則第57条（PCT36条）の規定に従い送付する。

2. この国際子備審査報告は、この表紙を含めて全部で 4 ページからなる。

3. この報告には次の附属物件も添付されている。

a  附属書類は全部で 3 ページである。

補正されて、この報告の基礎とされた及び／又はこの国際子備審査機関が認めた訂正を含む明細書、請求の範囲及び／又は図面の用紙（PCT規則70.16及び実施細則第607号参照）

第I欄4. 及び補充欄に示したように、出願時における国際出願の開示の範囲を超えた補正を含むものとこの国際子備審査機関が認定した差替え用紙

b  電子媒体は全部で ディスク 1枚 (電子媒体の種類、数を示す)。  
配列表に関する補充欄に示すように、コンピュータ読み取り可能な形式による配列表又は配列表に関連するテーブルを含む。（実施細則第802号参照）

4. この国際子備審査報告は、次の内容を含む。

第I欄 国際子備審査報告の基礎  
 第II欄 優先権  
 第III欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての国際子備審査報告の不作成  
 第IV欄 発明の單一性の欠如  
 第V欄 PCT35条(2)に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付けるための文献及び説明  
 第VI欄 ある種の引用文献  
 第VII欄 国際出願の不備  
 第VIII欄 国際出願に対する意見

国際子備審査の請求書を受理した日 16.03.2004	国際子備審査報告を作成した日 07.07.2004
名称及びあて先 日本国特許庁 (IPEA/JP) 郵便番号100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号	特許庁審査官（権限のある職員） 田村 明照 電話番号 03-3581-1101 内線 3448 4N 8412

## 第1欄 報告の基礎

1. この国際予審報告は、下記に示す場合を除くほか、国際出願の言語を基礎とした。

この報告は、\_\_\_\_\_語による翻訳文を基礎とした。  
それは、次の目的で提出された翻訳文の言語である。

PCT規則12.3及び23.1(b)にいう国際調査  
 PCT規則12.4にいう国際公開  
 PCT規則55.2又は55.3にいう国際予審審査

2. この報告は下記の出願書類を基礎とした。(法第6条(PCT第14条)の規定に基づく命令に応答するために提出された差替え用紙は、この報告において「出願時」とし、この報告に添付していない。)

出願時の国際出願書類

明細書

第 1-65 ページ、出願時に提出されたもの  
第 \_\_\_\_\_ ページ、\_\_\_\_\_ 付けで国際予審審査機関が受理したもの  
第 \_\_\_\_\_ ページ、\_\_\_\_\_ 付けで国際予審審査機関が受理したもの

請求の範囲

第 \_\_\_\_\_ 項、出願時に提出されたもの  
第 \_\_\_\_\_ 項\*、PCT第19条の規定に基づき補正されたもの  
第 1-10 項\*、23.06.2004 付けで国際予審審査機関が受理したもの  
第 \_\_\_\_\_ 項\*、\_\_\_\_\_ 付けで国際予審審査機関が受理したもの

図面

第 1-16 ページ/図、出願時に提出されたもの  
第 \_\_\_\_\_ ページ/図\*、\_\_\_\_\_ 付けで国際予審審査機関が受理したもの  
第 \_\_\_\_\_ ページ/図\*、\_\_\_\_\_ 付けで国際予審審査機関が受理したもの

配列表又は関連するテーブル

配列表に関する補充欄を参照すること。

3.  補正により、下記の書類が削除された。

<input type="checkbox"/> 明細書	第 _____	ページ _____
<input checked="" type="checkbox"/> 請求の範囲	第 11-22	項 _____
<input type="checkbox"/> 図面	第 _____	ページ/図 _____
<input type="checkbox"/> 配列表(具体的に記載すること)	_____	
<input type="checkbox"/> 配列表に関連するテーブル(具体的に記載すること)	_____	

4.  この報告は、補充欄に示したように、この報告に添付されかつ以下に示した補正が出願時における開示の範囲を超えてされたものと認められるので、その補正がされなかったものとして作成した。(PCT規則70.2(c))

<input type="checkbox"/> 明細書	第 _____	ページ _____
<input type="checkbox"/> 請求の範囲	第 _____	項 _____
<input type="checkbox"/> 図面	第 _____	ページ/図 _____
<input type="checkbox"/> 配列表(具体的に記載すること)	_____	
<input type="checkbox"/> 配列表に関連するテーブル(具体的に記載すること)	_____	

\* 4. に該当する場合、その用紙に "superseded" と記入されることがある。

第V欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての法第12条 (PCT35条(2)) に定める見解、それを裏付ける文献及び説明

## 1. 見解

新規性 (N)	請求の範囲 1 - 7	有
	請求の範囲 8 - 10	無
進歩性 (I S)	請求の範囲 1 - 7	有
	請求の範囲 8 - 10	無
産業上の利用可能性 (I A)	請求の範囲 1 - 10	有
	請求の範囲	無

## 2. 文献及び説明 (PCT規則70.7)

文献 1 : WO 02/053737 A1 (ASAHI KASEI) 2002.07.11  
& EP 1354950 A1 & US 2003/0143540 A1 & US 2003/0170719 A1  
SEQ ID NO 151-154参照

請求の範囲 1 - 7

請求の範囲 1 - 7 に記載された発明は、国際調査報告で引用された文献 1 に対して新規性及び進歩性を有する。

文献 1 には、本願の配列番号 2 又は配列番号 4 に示されるアダプタータンパク質 TICAM-1 及び T<sub>0</sub>11 様受容体 3 の両者を発現する細胞が記載されておらず、しかもその点は当業者といえども容易に想到し得ないことである。

請求の範囲 8 - 10

請求の範囲 8 - 10 に記載された発明は、国際調査報告書に引用された文献 1 により新規性、進歩性を有しない。

文献 1 には、NF- $\kappa$ B を活性化する作用を有するタンパク質をコードする cDNA をクローニングし、同 DNA により形質転換された細胞を用いて NF- $\kappa$ B の活性化を阻害または促進する物質をスクリーニングすることが記載されている。そして、本願の配列番号 2 のアミノ酸配列は文献 1 の配列番号 154 と同一であり、本願の配列番号 4 のアミノ酸配列は文献 1 の配列番号 152 と同一である。また、文献 1 には、これらのタンパク質が自己免疫疾患、癌疾患、感染症等に対する新たな医薬の開発あるいは治療法の開発に寄与することが記載されている。一般に、生理活性タンパク質が特定の疾患に関連していることが判明すれば、そのタンパク質自体、アゴニスト、アンタゴニスト等の生理活性タンパク質の活性を制御できる関連物質の全てが当該疾患の治療薬の候補となり得ることは当業者に自明である。

## 配列表に関する補充欄

## 第Ⅰ欄2. の続き

1. この国際出願で開示されかつ請求の範囲に係る発明に必要なヌクレオチド又はアミノ酸配列に関して、以下に基づき国際予備報告を作成した。

a. タイプ  配列表  
 配列表に関連するテーブル

b. フォーマット  書面  
 コンピュータ読み取り可能な形式

c. 提出時期  出願時の国際出願に含まれる  
 この国際出願と共にコンピュータ読み取り可能な形式により提出された  
 出願後に、調査又は予備審査のために、この国際機関に提出された  
 \_\_\_\_\_ 付で、この国際予備審査機関が補正\*として受理した

2.  さらに、配列表又は配列表に関連するテーブルを提出した場合に、出願後に提出した配列若しくは追加して提出した配列が出願時に提出した配列と同一である旨、又は、出願時の開示を超える事項を含まない旨の陳述書の提出があった。

3. 補足意見：

\*第Ⅰ欄4. に該当する場合、差替える配列表又は配列表に関連するテーブルに "superseded" と記入されることがある。